

## 「ドイツの自動車産業の動向について」

購買課

土橋

自動車のデザインや機能は、自動車大国であるドイツ車が先端を走っていますので、今回はドイツの自動車産業の動向を調査結果を報告します。

ドイツの自動車産業では、持続可能性や環境への影響に対する意識が高まっており、再生可能な素材の使用が増えています。

以下は、ドイツの自動車業界における一般的な傾向と取り組みに関する情報です。

**1. バイオマテリアルの導入：**ドイツの自動車メーカーは、内装や外装パーツなどにおいて再生可能な素材やバイオベースの素材を使用しています。例えば、バイオプラスチックや天然繊維を利用した製品が開発され、これにより従来の石油由来の素材に比べて環境への負荷が低減されることが期待されます。

**2. リサイクル可能な素材の増加：**車両の設計において、リサイクル可能な素材の使用が増えています。これにより、車両の寿命が終わった際に素材を効果的に再利用できるようになり、廃棄物の削減に寄与しています。

**3. 軽量化とエコデザイン：**ドイツの自動車メーカーは、車両の軽量化を進め、これによって燃費向上や排出ガス削減に寄与しています。

軽量化においては、再生可能な素材や高強度の複合材料が活用されています。

**4. サーキュラーエコノミーへの移行：**サーキュラーエコノミー（循環型経済）の原則に基づいて、製品や素材の寿命を延ばし、廃棄物を最小限に抑える取り組みが進んでいます。これには、製品のリサイクルや再生、修理可能性の向上が含まれます。

**5. 供給チェーンにおける再生材料の導入：**自動車メーカーは供給チェーンにおいても再生可能な素材の導入を促進しています。

サプライヤーとの連携により、製品に使用される素材が環境にやさしいものであることが重視されています。

これらの取り組みは、ドイツの自動車産業がより持続可能で環境に配慮した方向に進む一環となっています。

ただし、業界全体がますます環境に優しい実践を採用し、従来の素材や製造プロセスに対する挑戦に取り組んでいくことが求められています。

上記5点がドイツメーカーの考え方の基本ですが、商社に言わせると上記の材料で全て対応し自動車を作るとコストは全体で10倍以上掛かるので、運転して目に付き易い場所にその様な材料を一部使用し、カタログ等に大きく掲載して行き、環境対策に力を注いでいますよアピール手法を取っている様に見えるとの事です。

ドイツ車のデザインや機能は、少し時間が経てば日本にも入って来ますので、今後も注視が必要と思っています。

